

# 教職員と教え子 共闘

9/11  
5旗

## 愛知「アピール集会」500人

「教え子を戦場に送るな」。名古屋市中区の繁華街に9日夜、教職員とその教え子たちの声が響きわたりました。愛知県高等学校教職員組合、名古屋市立高等学校教職員組合など教育関係7団体が共同して開いた「戦争法案を許さない！教職員アピール集会」。参加者は500人を超えました。

名古屋大学職員組合の武市全弘書記長は「アジア・太平洋戦争で学徒出陣や勤労学徒として多くの学生・生徒が犠牲にな

った。大学は新兵器の開発・研究を強要された。教え子を戦場に送ることのないよう廃案に追い込もう」と訴えました。県立高校を卒業し北海道の大学に進学した男子学生(20)が「愛知や全国の運動に励まされ、札幌でも青年学生が署名や集会を始めた」と報告。憲法と教育を守る愛知の会などから「安倍政権になり防衛費が増大する一方、教育予算は減り続けている。軍備増強をやめ教育充実を」などの発言がありました。



「教え子を戦場に送るな」のボードを掲げる参加者ら＝9日、名古屋市中区

集会後、「NO戦争法案」「憲法守れ」と書いたボードを掲げパレードしました。中学の男性教員(54)は「男子生徒が『おとなになったら戦争に行くのかな』『自衛隊に入るのうに話している。生徒の不安を解消するためにも戦争法案を廃案にしなければならぬ』と話しました。日本共産党の西山あさみ、高橋ゆうすけの両名古屋市長が参加しました。

兵庫県高等学校教職員組合(兵庫高教組)は、戦争法案について学ぶピラを高校の門前で生徒に配布する取り組みを続けています。「日本の若者が外国の戦争で命の奪い合いをするのを絶対に繰り返してはなりません」と書かれたピラとポケットティッシュの受け取りはよく、1時間約100人の生徒が受け取った学校も。生徒から「戦争の話を聞かせてほしい」と声をかけられた教職員もいます。社会科の非常勤講師(65)は「日本がアメリカの戦争に参加する法律なんだということを、一人でも多くの生徒に知ってもらいたい」と話します。梅林真道書記長は「います。ニュースでかなり報道されるようになり、高校生の関心も高くなっています。戦争法案もその先の憲法改悪も止めるためにがんばります」

## 庫 高校前でピラ配布

兵 生徒「戦争の話聞かせて」